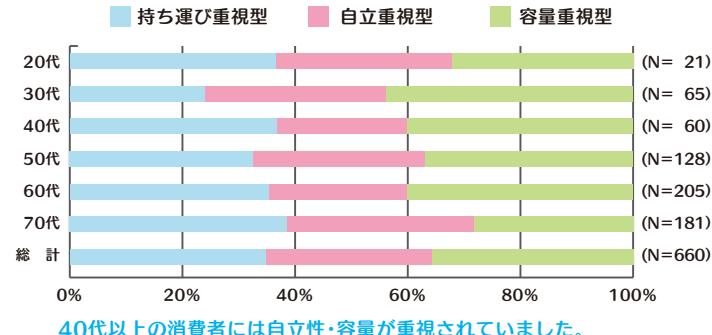


# 究極のマイバッグ

調査

## 形状

消費者には①「詰め込み重視型」②「容量重視型」③「持ち運び重視型」の3つの集団が見い出されました。



結果

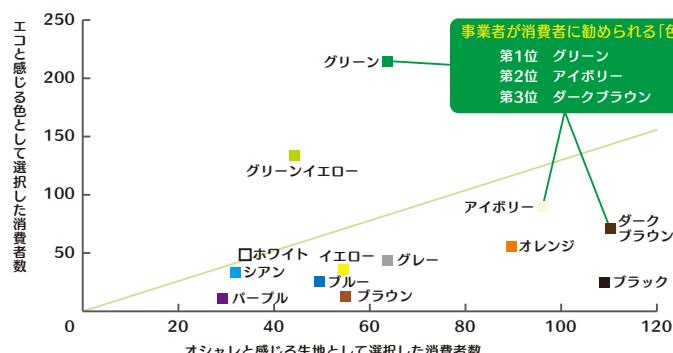
『詰め込みやすい自立型』  
が最もふさわしい！

便利で使いやすいと感じる「形状」を調査。

調査

## 色

「オシャレ」と「エコ感」の観点で  
色について嗜好性を調査。



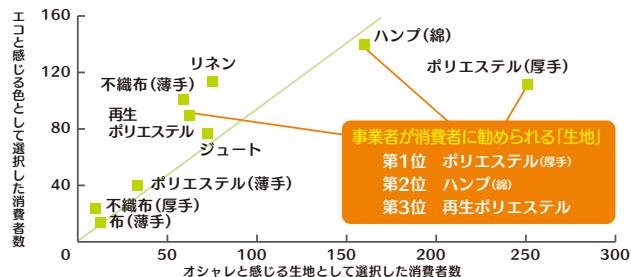
結果

『グリーン』  
が最もふさわしい！

調査

## 生地

「オシャレ」と「エコ感」の観点で  
生地について嗜好性を調査。



消費者にとって両者を満たす生地として①「ハンプ(綿)」②「厚手ポリエステル」が多数の意見を占めた。これらは、事業者が消費者に勧められる生地についても上位でした。

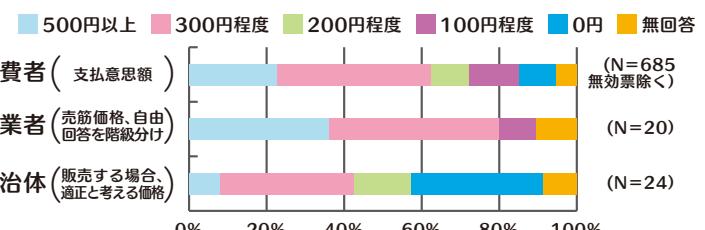
結果

『ハンプ』or『ポリエステル(厚手)』  
がふさわしい！

調査

## 値段

支払意思額や売れ筋価格の調査。



消費者・事業者の結果からは300~500円が適性と考えられましたが、究極のマイバッグとしてより多くの合意を得るには…

結果

『300円以下』が有力！

※自治体については、販売する場合、適正と考える価格調査

まとめ

## 今後の取り組みについて

これまでの調査から、右のようなマイバッグが「究極のマイバッグ」と言えそうです。

今後は、これを実際に作成し、消費者モニター調査やモデル事業などを通じて、利用率、レジ袋削減効果、消費者の環境意識への影響、経済性の評価を行っていく予定です。



消費者モニターモデル事業所にご協力ください。